



北の縄文

HOKKAIDO JOMONCLUB NEWSLETTER

2025 Summer Vol. 36

CONTENTS

- P1 巻頭ごあいさつ
- P2-3 トピックス①キウス周堤墓群
- P4-5 トピックス②おすすめ縄文動画
- P6 トピックス③カックウ発見 50 年
- P7 道庁からのお知らせ
- P8 情報あれこれ・編集後記

巻頭ごあいさつ



北の縄文道民会議 理事 二階堂 恭仁

北海道中央バス株式会社 代表取締役社長



2021 年 7 月 27 日に「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産に登録され、多くの皆さんと喜び合い感激してから 4 年が過ぎようとしています。北海道では世界自然遺産の知床半島に次ぐ 2 つ目の世界遺産として注目を浴び、登録された縄文遺跡群には全国から多くの見学の方が訪れて賑わいを見せています。

自然と共生しながら 1 万年以上続いた縄文文化は、日本人の価値観や自然観の形成に深く関わっていると考えられますが、その注目すべき特色は……

- ・ 自然に対して畏敬の念を持ち、その恵みに感謝し、獲りすぎない精神を保ち続けたこと
- ・ 農耕ではなく狩猟、採集、漁労で糧を得ながら定住した世界でも稀な文化であること
- ・ 土器が生まれ、煮炊きをする文化によって食生活が豊かになり、物流、人流、交流が盛んになったこと
- ・ 特に北海道では縄文の精神がアイヌ文化まで受け継がれたこと

などが挙げられます。人間と自然との関わりが問い直されている現代、私たちはこうした高い精神性を持った縄文文化を人類共通の貴重な財産として、しっかりと未来に伝えて行くべきであると考えます。縄文人のこころと暮らしのすばらしさは、私たちに様々なことを強く語り掛けているように感じます。

弊社は世界文化遺産申請の段階から、登録されるためには認知度・知名度を上げる意味でも現場の遺跡群を知ることが大切と考え、2010 年頃から「バスで行く縄文旅」を企画実施し、登録候補の遺跡群を巡るバス旅を提供してまいりました。また、近年はお客様の要望にお応えし、東北 3 県（青森、秋田、岩手）の世界文化遺産となった縄文遺跡群をフェリーで巡る旅などを本州にも拡販しております。

登録から 5 年目を迎え、今後はさらに各遺跡や博物館などの維持管理の取り組みが重要になると思います。一年ごとに認知度や知名度が低下しない仕組みづくりが大切になりますので、関係機関の方々や、縄文世界遺産の繁栄を願う私たちの頑張りも重要です。弊社としても引き続き縄文遺跡群を巡るバス旅などを継続し、その一端を担っていきたいと思います。

キウス周堤墓群にガイダンスセンターがオープン！

世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産の一つ、千歳市にある史跡「キウス周堤墓群」に今年4月、待望のガイダンスセンターがオープンしたので、早速、潜入してきました！

まずは、センターで周堤墓の概要や発掘の様子、出土した遺物を映像やパネル、実物展示を通じて学び、そして、いざ、緑あふれる遺跡エリアへ！縄文の人々がこの巨大な墓地をどのように造り、どんな思いを抱きながら祈りを捧げたのか・・・その姿を想像しながらの散策は最高です。（K）



駐車スペースに隣接するガイダンスセンター。4月15日にオープニングセレモニーが行われました。入口には周堤墓の地層をイメージした土壁があしらわれています。

<キウス周堤墓群>

- * 約3200年前・縄文時代後期の大規模な集団墓地。周堤墓とは、地面に円い堅穴を掘り、掘った土を周囲に土手状に積み上げ、その中に複数の墓を配置しているものです。
- * 「キウス周堤墓群」には9基の周堤墓があり、そのうち7基は外径50m以上の大規模なもの。最大のもの（1号周堤墓）は外径83m、深いもの（2号周堤墓）は高低差約5mで、他の遺跡にはない大規模な周堤墓が集中していることが特徴です。
- * 2号周堤墓を造るには約3,000㎡の土を動かしたと計算されており、縄文時代の道具を使って土を掘って運んで積み上げた量を1人1日1㎡だとして、25人で120日。大がかりな工事だったと思われます。
- * キウス周堤墓群は、2021年7月「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産の一つとして世界文化遺産として登録されました。



ガイダンスセンターの中に入ると、壁一面に周堤墓の全容やお墓で祈りを捧げる等身大の縄文人の様子が描かれています。当時の人々にとってのキウス周堤墓の存在の大きさや心が伺えます。



中央には、キウス周堤墓群の全容（9基の周堤墓で構成）を示すジオラマがあり、正面の映像の解説と連動して周堤墓が光ります。映像の中で史跡を巡りながら解説するのは千歳市の豊田宏良さん。



墓標として使われたとされる高さ62cmの「石柱」。



世界遺産のキウスのアイコンは「石棒」。両先端の細かいアートな模様に注目です。



世界遺産の価値とキウス周堤墓群の位置づけを映像で知ることができます。ユネスコの認定証も。



ボランティアガイドさんによる無料解説も！

いよいよ
遺跡エリアへGO！



キウスの森の入り口には、縄文世界遺産の共通サイン板。整備された見学路は、車イスがすれ違える広さとなりました。



周堤墓の内側に入ることはできませんが、木道からそれぞれの周堤墓の大きさや深さ、隣あう様子、縄文人が歩いたと思われる小径や、入り口部分を確認することができます。ベンチが置かれているデッキもあります。今年、残りの工事を経て、整備が完了します。



◆遺跡へのアクセス

- ・ JR 千歳駅から車で約 15 分。
- ・ 道東自動車道千歳東 IC から車で約 1 分。
- ・ 公共交通機関はなく、駐車場は無料。

◆ガイダンスセンター

- ・ 開館：9 時～17 時（11 月は 9 時～16 時）
- ・ 休館日：冬期（11 月下旬～4 月下旬）
- ・ 入館料：無料

ちよっと足を延ばして・・・

◆千歳市埋蔵文化財センター

- ・ 千歳市内の遺跡の概要や出土品を紹介しています。
- ・ 新千歳空港滑走路工事で発見された話題の動物形土製品「ビビちゃん」、「男性土偶」、「土面」も展示。
- ・ 開館：月～金、第 2 日曜日 9 時～17 時
- ・ 場所：キウス周堤墓群から 7 km。



◆花茶（アイスクリーム、ピザなど）

- ・ キウス周堤墓群から車で 5 分。
- ・ 周堤墓をイメージした「縄文ピザ」が人気です。



絶対に観てほしい！～おすすめ縄文動画～

縄文ファンが増えていく中、北海道庁や北海道教育委員会をはじめ、遺跡がある自治体や様々な機関により、縄文の魅力を紹介する動画等が制作されています。遺跡に実際に訪れる前や、訪れた後に、動画でじっくりと学ぶのもとても有意義です。

道庁
文化振興課

2nd 北のアニメ大賞

北海道庁では、北海道の魅力発信と新たなクリエイターや作品誕生の支援等を目的に、アニメの公募コンテストを実施しています。2024 年は、「北の縄文～未来へつづく、一万年ストーリー～」をテーマに、15 秒以上 3 分程度の作品を募集しました。道内にゆかりのあるアニメーターの方々に審査いただいた入賞作品が、道の YouTube チャンネルで公開されています。どの作品もとてもすばらしく、縄文時代にタイムスリップしてみたいくなるものばかりです。

【大賞】『縄文のいちにち』 (3:00)

ひらいこうのすけ (札幌市・16 歳)



<審査員講評>

画力、アニメーション技術の高さに審査委員一同、驚きました。しかも、のちに高校生の作品と聞き、その才能に今後の活躍を大いに期待したいところです。ノンダイアログ(台詞なし)の作品ですが、ビジュアルと動き・テンポで縄文の世界を見事に描いており、演出力にも素晴らしいものがありました。強いて言えば、今との関係、未来へつなぐ部分まで描いてほしかったのですが、そこまでは難しい課題だったかな？



【準大賞】『縄文体験記』 (2:41)

マーガリン rabbits (札幌市・17 歳)



<審査員講評>

全体を通して、伝えたいテーマに沿った内容となっている作品で、博物館から始まるストーリーの展開などは導入部分として効果的に機能していたと思います。技術的には、まだ粗い部分がありますが、絵やキャラクターは魅力的でし、縄文の世界に没入していく、その表現方法には工夫や苦勞が見られました。この作品も高校生の作品と聞き、今後のアニメーターとしての活動が楽しみです。



【特別賞・審査員特別賞】

『忘れ物』 (1:51)

Horamoon (札幌市・19 歳)



【特別賞】『彩づく』 (1:39)

引明け(大分県・年齢非公表)



道庁

縄文世界遺産
推進室

縄文世界遺産の価値を紹介するために、様々な角度から制作した動画です。



世界遺産とは (7:46)



北海道の構成資産について (13:59)



縄文文化とは (5:38)



生物多様性に富んだ北海道 (5:48)



北海道・北東北の縄文遺跡群とは (7:28)



縄文遺跡群の保全と活用 (3:58)



『じよもるん、じょうもんへ』
縄文世界遺産 3 周年を記念して制作した絵本『じよもるん、じょうもんへ』が、読み聞かせ動画として公開されています。

縄文の妖精「じよもるん」が、遺跡をめぐりながら大切なことを学ぶお話です。ぜひ、お子様と一緒にご覧ください。



アドベンチャー・トラベルとしての魅力を PR するために制作した動画です。



『アドベンチャー・トラベル北海道』 (3:30)



『縄文は生きている』 (3:46)